

平成 2 7 年 度 事 業 報 告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

I 当法人の概況

1 役員に関する事項

(1) 理事及び監事に関する事項

理 事

定 数 9人以上13人以内(会長、副会長及び専務理事を含む)

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤10人、計11人

監 事

定 数 2人

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(平成28年3月31日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
会 長	佐々木亮子	H27.6.26～ 平成29年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	(有)アールズセミナー 代表
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学大学院 研究科長
理 事	鹿野内憲一	〃	〃	〃	北海道中学校長会 幹事
〃	森 政徒	〃	〃	〃	北海道PTA連合会 副会長
〃	渡辺 泰典	〃	〃	〃	北海道青年団体協議会 会長
〃	澤田 弘志	〃	〃	〃	北海道商工会連合会 参与
〃	近藤 浩	〃	〃	〃	北海道新聞社 編集局生活部長

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理 事	大石 春雄	〃	非常勤	なし	札幌市青少年育成委員会 連絡協議会副議長
〃	荒木関 栄	〃	〃	〃	旭川市青少年育成部 連絡協議会会長
〃	池田 秀幸	〃	〃	〃	空知管内青少年育成 運動推進指導員会会長
専務理事	濱口登代喜	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監 事	西村 俊二	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	岡田 正樹	〃	〃	〃	札幌日本大学学園 事務局長

(2) 評議員に関する事項

定 数 9 人以上 13 人以内

任 期 選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤 11 人、計 11 人

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	中川 尚之	H26. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	駒形 武志	H27. 6. 26～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道小学校長会 事務局幹事
〃	横山 直満	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道市長会事務局長

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	山内 康弘	H25. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道町村会事務局長
〃	木村 謙治	H27. 6. 26～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長
〃	扇間 康弘	H26. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	日本ボーイスカウト 北海道連盟 副理事長
〃	林 光彦	H25. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 副会長
〃	菅原 光宏	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長
〃	浅野 正昭	H26. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道農業協同組合中央会 農業振興部長
〃	稲垣 利彰	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	札幌家庭裁判所 家事調停委員

2 賛助会員に関する事項

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

種 類	前年度末		当年度末		増 減	
普通賛助会員 個人	6 0	人	5 6	人	△ 4	人
普通賛助会員 青少年関係団体	5 2	団体	5 3	団体	1	団体
特別賛助会員	1 5 0	団体	1 4 8	団体	△ 2	団体
合 計	2 6 2	人・団体	2 5 7	人・団体	△ 5	人・団体

3 職員に関する事項

現在数 6名

(平成28年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	内田 道明	常勤
主 任	竹本 郁子	〃
主 事	福田 拓哉	〃
専門指導員	千葉 祐一	〃
嘱 託	上杉 絵巳子	〃
嘱 託	鑑 重信	〃

II 事業に関する事項

1 平成27年度事業の実施状況

別添のとおり

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
平成27年6月8日	①平成26年度事業報告について ②平成26年度収支決算について（監査報告） ③評議員会の開催及び目的である事項について	承認 承認 承認
平成27年6月26日 (決議の省略)	①会長の選定について ②副会長の選定について ③専務理事の選定について	承認 承認 承認
平成28年3月10日	①平成28年度活動方針及び事業計画（案）について ②平成28年度予算（案）について ③資金調達及び設備投資の見込みについて ④平成28年度資金管理運用執行方針及び計画（案）について ⑤個人情報及び個人番号の保護に関する基本方針の制定について ⑥個人情報及び個人番号の保護に関する基本規程の制定について ⑦就業規則の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
平成27年6月26日	①平成26年度収支決算について ②理事の改選について ③評議員の補充選任について	承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
平成27年8月10日	・平成26年度北海道青少年基金事業実績及び収支決算について ・平成27年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について ・平成27年度「青少年団体・グループ及び青少年顕彰」の決定について
平成28年2月22日	・北海道青少年基金の造成現況について ・北海道青少年基金運用益の交付・顕彰現況について ・平成28年度北海道青少年基金事業計画（案）について ・北海道青少年基金運用益交付要綱の一部改正について

3 所官庁への届出事項

届出年月日	届出事項
平成27年6月26日	平成26年度事業状況報告等の提出
平成27年7月22日	理事・評議員変更の届出
平成28年3月16日	平成28年度事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
平成27年4月20日	平成26年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (道環境生活部)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特にありません。

Ⅱ－１．平成２７年度事業の実施状況

近年、青少年の育成を取り巻く状況は、いじめや不登校、児童虐待、有害情報の氾濫と少年の被害、ニートなど若者の社会的自立の遅れ、少年による重大事件の発生など、憂慮すべき様々な問題が生じており、行政や関係団体、企業、ＮＰＯなど様々な立場からの連携した取り組みが求められております。

このため、当協会は、平成２７年度においても北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、青少年の健全育成のため、各般の事業の推進に努めました。

平成２７年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

事業名	事業の概要	備考
１．青少年育成住民運動促進事業	運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、関係者との合同会議を開催するなどして、地域での青少年育成運動についての共通理解を深めるとともに、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。	
(1) 北海道青少年育成運動推進指導員の配置	○定員 238人 (内訳) (総合)振興局(青少年指導員)、教育局(社会教育主事) (総合)振興局管内(青年代表)各1人 札幌市10人、旭川市・函館市は各3人 小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人 その他の市及び町村各1人 ○活動 (1)青少年育成運動(地域行事・活動に参加) (2)地域団体等の事業を実施 (3)非行防止、環境浄化(巡回パトロールなど) (4)行政との連携(市町村行事等に参加) (5)当協会の事業推進(地域住民に情報提供など)	
(2) 青少年育成地域合同会議の開催(北海道との共催)	全道14箇所(各(総合)振興局)で開催し、青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者等が出席した。 ○期日 平成27年5月13日(水)～6月19日(金) ○会場 各(総合)振興局単位(14会場) ○対象 (1)青少年育成運動推進指導員 (2)市町村青少年行政担当者 (3)青少年育成市町村民会議関係者 ○参加者 379名(総計) ○内容 (1)平成27年度青少年育成施策の推進について (2)少年非行の概況について (3)平成27年度活動方針及び事業計画について (4)北海道青少年基金の運用等について (5)意見交換 青少年育成運動の推進状況と課題について	
(3) 市町村民会議等の連携強化	地域における運動の中核である青少年育成市町村民会議(現在69市町村設置)の活動状況を把握したほか、未設置市町村に対して	

事業名	事業の概要	備考
	は結成促進に努めた。また、市町村民会議等への啓発資材の配付や機関誌等による情報提供を行い、地域の連携の強化や運動の支援を図った。 ○活動状況の把握 平成26年度活動状況を取りまとめ、当協会ホームページに全市町村民会議の活動状況を掲載したほか、協会機関誌において、次の市町村民会議の活動内容を紹介した。 ・大樹町青少年健全育成推進町民の会 ・恵庭市青少年育成市民の会 ・枝幸町青少年育成ネットワーク ○結成要請（現地）留萌市、羽幌町、中標津町、伊達市	
(4) 青少年問題を考える地域懇話会の開催	青少年に関する諸問題について学識経験者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議との共催により、前年度と同様2回開催した。関係者の参加により、地域の現状や課題解決の方策等について、活発な意見交換が行われた。 《八雲町開催》 ○期 日 平成27年10月15日（木） ○場 所 八雲町公民館第1・第2会議室 ○共 催 八雲町青少年健全育成推進協議会 ○テーマ「子どもの豊かな心を育てるために」 ～家庭・学校・地域がどのように連携すればよいか～ ○参加者 地元青少年育成関係者 30名 ○出席者 話題提供：札幌国際大学スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科教授 佐久間 章 話題：「次代を担う青少年を育むために」 コーディネーター：北海道教育庁渡島教育局教育支援課 社会教育指導班主査 吉田 昌幸 《標津町開催》 ○期 日 平成27年12月1日（火） ○場 所 標津町生涯学習センターあすばる 多目的ホール ○共 催 健全な青少年を育てる標津町民の会 ○テーマ「地域の子どもの育てるために」 ～家庭と地域・学校をつなぐ具体的な方策をさぐる～ ○参加者 地元青少年育成関係者 35名 ○出席者 話題提供：北海道教育大学教育学部釧路校 教授 廣田 健 話題：「地域の子どもの育てるために何が必要か」 コーディネーター：北海道教育庁根室教育局教育支援課 社会教育指導班主査 熱海 桂子	

事業名	事業の概要	備考
2. 青少年を育成する環境づくり推進事業	青少年の健全な育成について、社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会や活性化研究協議会など関連事業を開催し、青少年問題についての共通理解を深めた。	
(1) 北海道青少年育成大会の開催(北海道との共催)	地域で活動している青少年育成関係者が一堂に会し、全道の青少年関係者が参加する最大規模の大会として定着しており、基調講演や表彰、「少年の主張」全道大会等を行い、本道における青少年育成活動の一層の推進をアピールすることができた。 ○期 日 平成27年9月3日(木) ○場 所 道民活動センター(かでる2・7)ホール ○参加者 青少年育成関係者 411名 ○内 容 ・開会式：主催者挨拶 ・平成27年度北海道社会貢献賞表彰式 ・平成27年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 ・来賓祝辞 ・平成27年度「少年の主張」全道大会発表、表彰 (札幌市及び14(総合)振興局地区代表)：16名 最優秀賞 (札幌地区代表) 発表者：北海道教育大学附属札幌中学校3年 前田ほの香 テーマ：「障害」と共に暮らす社会 ・基調講演 演 題：「子どもたちにとって安心・安全な 地域をつくるために～私たちができること～」 講 師：出口 保行(東京未来大学子ども心理学部長教授) ・青少年の活動発表 発表者：横田 彩青(民謡発表/中学1年 岩見沢市)	
(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催	青少年育成運動推進指導員のほか、道内各地の関係者やボランティアを対象として、今後の青少年育成運動の活性化を図るため、講演や各テーマを設けた分科会を通じ、地域での指導者等が運動の現状や課題等について研究協議を行い、運動についての共通理解を深めた。 ○期 日 平成27年11月13日(金) ○場 所 道民活動センター(かでる2・7)大会議室ほか ○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体の関係者、青少年育成運動を進めている住民組織の会員、(総合)振興局・市町村青少年行政関係職員、青少年補導センター補導委員、少年補導員、更生保護関係者等 計191名 ○内 容	

事業名	事業の概要	備考
	・基調講演 演題：「非行から見える現在の子どもたち」 講師：龍島 秀広(北海道教育大学教職大学院准教授) ・分科会 (第1分科会) テーマ：「地域における青少年育成運動について考える」 (ワールド・カフェ方式) ファシリテーター：北海道教育庁生涯学習推進局 生涯学習課社会教育グループ主査 芳村 桐子 助言者：公益財団法人北海道青少年育成協会 専務理事兼事務局長 濱口登代喜 (第2分科会) テーマ：「児童虐待の現状と課題」 ～子どもたちを守るために大人ができること～ 話題提供者：北海道中央児童相談所 地域支援課長 米田 浩二 助言者：公益財団法人北海道青少年育成協会 副会長 山谷敬三郎 コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事 一ノ関太郎 (第3分科会) テーマ 「青少年の豊かな心・生きる力を育む体験活動」 ～学校・地域・社会で子どもを育むために～ 話題提供者：とっぷ子どもゆめクラブ(新十津川町) 事務局長 酒井 雅彦 北見市青年団体－NEXT－(北見市) 代表 伊藤 公宏 コーディネーター：北海道教育庁胆振教育局教育支援課 社会教育指導班主査 松岡 賢晃	
(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進	本運動をより一層推進するため、「道民家庭の日」制定後15周年を記念し募集した新キャラクター(ほーほーくん)を活用し、民間企業や関係機関が主催する各種イベントに参加し、普及活動を行ったほか、「道民家庭の日」啓発資料(資材)を市町村等の関係機関・団体に作成配付し、普及啓発を図った。 また、市町村に対し「明るい家庭づくり道民運動」推進状況調査を実施し活動状況を把握したほか、各種啓発活動等を通じ「家族ふれあい優待制度」協賛店・施設の拡大に努めた結果、道内大手飲食店(チェーン店)が加入したことにより、協賛店・施設の数が大きく増加したほか、「道民家庭の日」絵画コンクールを実施し、全道の小中学生への応募呼びかけや北海道庁ロビー等における入賞作品展の開催により、「道民家庭の日」の普及啓発に努めた。	

事業名	事業の概要	備考
	○「道民家庭の日」普及促進に伴う各種イベントへの参加 【りぼんでつなごう！北海道プロジェクト2015】 ・期 日 平成27年4月～10月 ・内 容 リボンナポリン・コラボラベル及び自由帳へのほーほーくん掲載、特設ホームページの掲載 【「木育フェア」 in アリオ札幌】 ・期 日 平成27年7月15日～16日（2日間） ・場 所 アリオ札幌 2階フードコート横 ・内 容 「道民家庭の日」ぬりえ広場、パネル展示等 【THEサッポロビヤガーデンふるさと応援PRステージ】 ・期 日 平成27年8月12日（水） ・場 所 大通公園8丁目会場（サッポロビール主催） ・内 容 「道民家庭の日」クイズ大会、広報宣伝PR 【さっぽろ雪まつり5丁目「環境ひろば」ステージ】 ・期 日 平成28年2月8日（月） ・場 所 さっぽろ雪まつり5丁目「環境ひろば」会場 ・内 容 「道民家庭の日」じゃんけん大会、広報宣伝PR ○「道民家庭の日」啓発資料等の作成・配布等 ・リーフレット(8万部)、メモ帳(5,000部)、ポケットティッシュ(3万個)、大・ミニのぼり(各100枚)、ゴム風船(1,000個)、手提げ袋(2,000枚)、マグネット(1,000個) ○家族ふれあい優待制度の普及促進 各市町村や推進指導員に情報提供や協力依頼等をしたほか、北海道が進める「北のめぐみ愛食レストラン」や道教委が進める「家庭教育サポート企業」に対し協賛依頼を行った。 《協賛店・施設》 ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク、果樹園、ボウリング場、商店、キャンプ場など 計 366ヶ所（前年度251ヶ所） ○「道民家庭の日」絵画コンクール2015の実施 全道の小・中学校児童生徒の応募原画の中から審査により入選作品を決定し表彰するとともに、入賞作品展を開催した。 （応募総数：55校／479点） ・最優秀賞 2点（賞状、盾） （小学校の部）比布町立中央小学校2年 堀江 徠煌 「ごはんをたべるかぞく」 （中学校の部）北斗市立上磯中学校2年 濱道 七海 「行ってらっしゃい！」「行ってきます」～美術部合宿へ～ ・優秀賞 4点（賞状、盾） ・優良賞 6点（賞状、盾）	

事業名	事業の概要	備考
	・佳作 24点 (賞状) ・学校賞 2校 (賞状) 【絵画コンクール入賞作品展の開催】 ・道庁1階「道民ホールA」 (入場者数：225名) (平成27年11月19日～20日) ・札幌駅前通地下広場 (入場者数：270名) (平成27年12月22日) ・各(総合)振興局庁舎 (平成27年12月 7日～11日/胆振) (平成27年12月14日～18日/上川) (平成28年 1月18日～22日/宗谷) (平成28年 2月 1日～ 5日/オホーツク) (平成28年 2月15日～19日/渡島) (平成28年 2月22日～26日/根室)	
(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施したほか、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。 ○関係団体と協力した街頭啓発活動等の実施 「夏の暴力追放運動」街頭啓発活動 ・共 催 公益財団法人北海道暴力追放センター ・日 時 平成27年7月～8月 (4日間/延べ4回) ・実施場所 地下鉄駅前など札幌市内4ヵ所 ・配布資材「道民家庭の日」ポケットティッシュ及びリーフレット 計 500個 また、7月の強調月間での街頭啓発等に係る啓発資材として、「道民家庭の日」ポケットティッシュを各(総合)振興局に配付し、非行防止活動の一層の推進に努めた。 ・配付部数 ポケットティッシュ 計 13,500個 ○麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーンビデオ「DRUG」の貸出 麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン映画「DRUG」のビデオテープの貸出について当協会ホームページで周知を図った。 ○未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進 当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関するサイトを設け啓発したほか、未成年者喫煙防止対策推進協議会に出席し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。 ・日 時 平成27年11月25日 (水) ・場 所 かでる2・7 7階750会議室	

事業名	事業の概要	備考
	○有害情報から青少年を守る活動の推進 北海道や学校関係者、情報通信企業などにより構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会などの一員として、インターネットや携帯電話による有害情報から青少年を守るため、各種啓発活動を進めた。	
(5)「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進	啓発資料を市町村及び関係機関・団体等に配付したほか、当協会が開催した各種大会等を通じ、運動の周知に努めた。 (配付部数)「大人が変われば、子どもも変わる」 啓発パンフレット 3,000部	
(6)「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	○「北海道青少年のための200冊」普及事業 北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会等の協力を得て、青少年の読書普及の一環として「北海道青少年のための200冊」(平成27年度版は、50冊を更新)を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成し、全道の幼稚園や小・中・高の学校など関係方面に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。 (配付部数)・平成27年度図書目録 12,000部 ・平成27年度新選図書目録 11,000部 ・200冊啓発ポスター 3,000部 (協賛出版社)39社 ○第27回読書感想画中央コンクール・第2回全道コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により対象図書として活用された。 ○第61回青少年読書感想文全道コンクール 第41回北海道指定図書読書感想文コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により、「協会長賞(2名)」を贈呈し、青少年の読書の普及活動を支援した。	
(7) 青少年育成関係団体懇談会の開催	青少年育成関係団体・機関が一堂に会し、相互の団体活動の連携協力や青少年健全育成の効果的な促進について情報交換などを行ったほか、話題提供により子どもの現状を把握し、共通認識を深めた。 ○期 日 平成28年2月10日(水) ○場 所 かでる2・7 10階 1050会議室 ○参加団体 16機関・団体 ○内 容 ・各団体活動状況報告、意見交換等 ・話題提供 演題:「拡大する子どもの貧困、その背景を考える」	

事業名	事業の概要	備考
	説明：札幌学院大学人文学部人間科学科 准教授 大澤 真平	
(8) 広報活動の推進	○啓発資材の作成・配付 「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品12点による平成28年カレンダーを作成し、市町村、小・中学校、関係機関・団体に配付し、青少年育成運動の普及促進に努めた。 (配付部数) 平成28年カレンダー 5, 100部 ○協会機関誌の発行 協会の事業報告や関係機関の関連記事など、青少年育成運動の推進に対する理解と関心を高めるため、機関誌を年2回発行し、各総合振興局・振興局、市町村、関係機関・団体、賛助会員等に配付し、広報啓発を行った。 (配付部数) 協会機関誌「育む」 2, 500部(各回) ○講師派遣の実施 (総合)振興局、市町村、育成団体等が開催する各種研修会に講師を派遣し、全道の青少年育成運動の現状と課題等について講演を行った。(計 7回/参加者 250名) 《派遣場所》 ・比布町青少年健全育成関係機関団体連絡協議会(参加者30名) ・札幌市手稲区青少年育成委員会連絡協議会基礎的研修(参加者100名) ・後志管内青少年育成運動推進指導員協議会研修会(参加者12名) ・十勝青少年育成推進指導員研修会(参加者17名) ・美幌町青少年育成指導員等研修会(参加者48名) ・空知青少年育成運動推進指導員会研修会(参加者23名) ・釧路管内北海道青少年育成運動推進指導員及び行政担当者合同研修会(参加者20名) ○ホームページ・SNSの活用 インターネットの特性を生かし、ホームページにおいて大会や研究協議会の開催予告及び結果、絵画コンクール作品募集等の記事や出版物の電子版を掲載したほか、SNS(フェイスブック)を活用し、若年層等への情報発信に努めた。 ○講演録集の作成・配付 青少年問題についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会や他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集「次代をみつめて'15」を発行し、各市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。 (配付部数) 講演録集「次代をみつめて'15」 800部 (内 容)	

事業名		事業の概要	備考						
		・大会名：北海道青少年育成大会 演題：「子どもたちにとって安心・安全な地域をつくるために～私たちができること～」 講師：出口 保行(東京未来大学子ども心理学部長教授) ・大会名：青少年育成運動活性化研究協議会 演題：「非行から見える現在の子どもたち」 講師：龍島 秀広(北海道教育大学教職大学院准教授)							
3. 青少年の社会参加・体験活動促進事業		青少年の社会参加を促進するため、地域の青年が地域づくりに主体的に参画し、その活動を通して地域活動の中核的な担い手として成長することを促進するため「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施するとともに、青年の地域活動の活性化や地域間の交流・ネットワークづくりを促進するため「青年活動元気づくり実践セミナー」を開催した。							
(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援 (北海道青少年基金事業)		北海道青少年基金の充実を図るため、関係機関・団体等に対し募金活動を行った。 また、運用益事業では、青少年団体・グループに助成し、青少年の社会参加活動を促進するとともに、他の模範となる青少年団体を顕彰した。 《募金活動》 ○各種団体に対し募金等の協力要請 ○新成人記念募金の協力要請 ○道職員に対し募金の協力要請 ○募金箱設置について協力要請 ○北海道青少年育成大会等での募金呼びかけ ・基金造成実績 <table><tr><td>今年度募金等実績額</td><td>153万6,145円</td></tr><tr><td></td><td>(年度当初予算額 130万円)</td></tr><tr><td>基金累計額</td><td>3億2,963万6,670円</td></tr></table> 《運用益交付等事業》 ○助成事業 - 交付申請団体数47団体(一般) - 交付決定団体数46団体 - 交付総額368万円 ○顕彰事業 ・団体の部(推薦団体数：1団体 決定団体数：1団体) 美幌町青年活動団体 B-live(美幌町) ・個人の部(推薦人数：1人 決定人数：1人) 水留 西介(札幌市) 平成27年9月3日開催の北海道青少年育成大会において表彰状及び盾を贈呈した。	今年度募金等実績額	153万6,145円		(年度当初予算額 130万円)	基金累計額	3億2,963万6,670円	
今年度募金等実績額	153万6,145円								
	(年度当初予算額 130万円)								
基金累計額	3億2,963万6,670円								

事業名	事業の概要	備考
(2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進	地域の青年団体・グループが行う地域の活性化活動に対し、交付金を交付し活動の推進を図った。 《交付青年団体グループ名・事業名》 ○団体名：サタデースクール 事業名：サタデースクール 期 日：平成27年7月11日～平成28年3月16日 (毎週土曜日) 場 所：札幌市(札幌市アカシア若者活動センター) 参加者：552名 ○団体名：北見市青年団体-NEXT- 事業名：ふれあいアニマルランド 期 日：平成27年11月1日(日) 場 所：北見市(サンドーム北見) 参加者：1,925名 ○団体名：砂川ユースステーション 事業名：砂川元気プロジェクト 期 日：平成27年7月23日～平成28年3月4日 (ハロウィン事業：平成27年10月31日(土)) 場 所：砂川市(砂川市地域交流センター「ゆう」他) 参加者：29名(特殊メイク講座)、約600名(ハロウィン事業) ○団体名：当麻町青年団体 事業名：キャンドルライトフェスティバル 期 日：平成28年2月7日(日)、8日(月) 場 所：当麻町(当麻町公民館「まとまーる」駐車場) 参加者：約600名	
(3) 青年活動元気づくり実践セミナーの開催	地域活動を行う青年に対し、活動の活性化のための課題や今後の進め方などの実践的なノウハウを学ぶとともに、地域間の青年のネットワークづくりを促進するため、一般財団法人北海道青年会館と共催し、実践セミナーを開催した。 ○期 日 平成27年7月4日～5日(2日間) ○会 場 北海道青年会館(札幌市北6条西6丁目) ○対 象 地域で活動している、又は活動を計画している者 (概ね20歳から40歳までの者) ○参加者 11名 ○関係者(運営者) ・北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課 社会教育グループ主幹 濱中 昌志 〃 主査 芳村 桐子、主査 五十嵐 秀介 ○内 容 (1日目) (1) 開会式、オリエンテーション (2) 活動紹介(団体・組織等の概要、活動内容など)	

事業名	事業の概要	備考
	(3) 研究協議1 (全体協議、グループ協議、個人ワーク、ショートレクチャー、発表交流など) (2日目) (1) 研究協議2 (個人ワーク、発表交流など) (2) まとめ・ふり返し (3) 閉会式	
4. 国や中央団体等との連携	関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係団体が実施した事業に協力した。	
(1) 北海道・東北ブロック研修会及び中央研修会、青年リーダー研修会の参加	《北海道・東北ブロック研修会》 ○日 時 平成27年8月26日 (水) ○場 所 いわて県民情報交流センター (岩手県) ○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 4名 《中央研修会》 ○日 時 平成27年11月26日 (木) ~ 27日 (金) ○場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都) ○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 4名 《青年リーダー研修会》 ○日 時 平成28年1月20日 (水) ~ 22日 (金) ○場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都) ○参加者 北海道青少年基金顕彰受賞個人 1名	
(2) 「少年の主張」全道大会	北海道との共催により「少年の主張」全道大会を開催するとともに、発表内容を掲載した作品集を作成し、全道の中学校、市町村、関係機関に配付したほか、ホームページ及び機関誌に掲載した。 (配付部数) 「少年の主張」全道大会発表作品集 1, 000部	
(3) 北海道児童館連絡協議会の事務局業務の受託	道内の児童館で構成する北海道児童館連絡協議会の事務局業務を行った。 《北海道児童館連絡協議会総会の開催》 ○日 時 平成27年7月9日 (木) ○場 所 第二道通ビル5階506会議室	
(4) 「日本の次世代リーダー養成塾」道内高等学校生の派遣事業に対する協力	本道の青少年の自立を促し、ボランティアや国際貢献、起業などに取り組む意欲を向上させるため、次代の北海道を担う青少年育成協議会の構成機関として協力した。	